

しらかわ夢かたーる総合運動公園整備事業
カタールフレンド基金でスポーツ施設を新設

カタール国は、被災3県の復興支援を目的に「カタールフレンド基金」を創設し、子どもたちの教育・健康・水産業の3分野の事業に対し、活動資金を助成しています。本市では第2回目の公募に健康分野で応募し、厳正な審査の結果、採択を受けました。これにより、総合運動公園（北中川原）内に、キッズルームやフットサルコート、交流スペースを備えた健康スポーツセンターを新設するほか、陸上競技場や国体記念体育館の改修工事を行う予定です。



▲6月5日に同国大使館（東京都港区）で覚書を取り交わしました

市庁舎太陽光発電設備完成セレモニー
一般家庭使用量の約5.3軒分の発電が可能

本庁舎と表郷庁舎に太陽光パネルが設置され、6月6日に本庁舎で完成セレモニーが行われました。この太陽光パネルは、東日本大震災からの復興支援を目的に、ソーラーフロンティア(株)（東京都港区）から、昨年の5月に寄贈されたものです。設置したパネルは、1年間に一般家庭約5.3軒分の電力を発電する見込みで、その電気はすべて電力会社に売電されます。両庁舎のロビーに設置したモニターで、1日の発電量などを確認することができます。



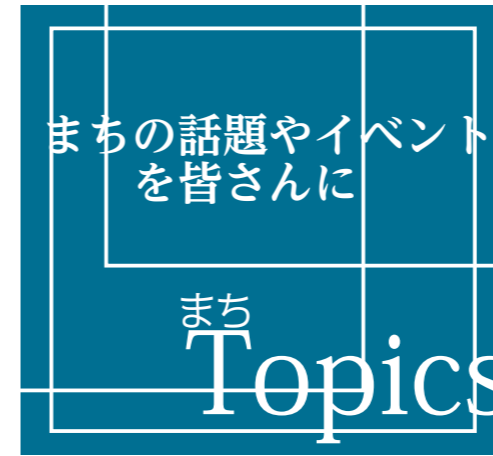
▲設置されたモニターを見つめる出席者

国道4号白河拡幅 白河橋桁締結式
今年度中に飯沢までの4車線化が完了

国道4号の4車線化拡幅事業に伴い、平成22年10月から行われてきた金勝寺の白河橋（上り線）の桁架設が完了し、6月11日に現地で桁締結式が行われました。式では、鈴木市長をはじめ地元の4町内会長などの手で最後のボルトが締められ、工事の完了を祝いました。今後、橋の床版や舗装等の工事を行い、今年度中に橋から飯沢までの1.3km区間の4車線化拡幅が完了し、供用開始される見込みです。



▲桁架設の完了を祝う地域の皆さん



大堀相馬焼の窯元「いかりや商店」が本市で操業
震災を乗り越え、江戸時代から続く伝統を守る

▲鈴木市長を表敬訪問した山田さん（3月22日）

原発事故の影響で浪江町から本市に避難した、大堀相馬焼の窯元「いかりや商店」が、堂山業務用団地（大信増見）で操業することが決まりました。いかりや商店は江戸時代から続く伝統ある窯元で、現在、13代目になります。操業に先立ち、鈴木市長を表敬訪問した店主の山田慎一さんは「これまで守り続けてきた大堀相馬焼の伝統を継承できるか悩みましたが、縁あって白河市で仮操業できるところまでこぎ着けました。この間、多くの皆さんに支えられました。これからは、陶芸教室などを通して地域に恩返ししていきたいと思えます」と話していました。鈴木市長は「伝統を守り続けるため、思う存分に陶芸に打ち込んでください」と激励しました。



▲作業風景

災害時における相互応援に関する協定を締結
昨年那須塩原市に続き深谷市と連携

5月28日に、本市は埼玉県深谷市と「災害時における相互応援協定」を締結しました。この協定は、白河西ロータリークラブと深谷市ノースロータリークラブが、姉妹クラブとして交流している縁がきっかけで締結に至ったものです。災害時には、食料や避難場所の提供、職員の派遣などを行います。本市は、行田市、桑名市、戸田市、那須塩原市のほか、県外12自治体と同様の協定を結んでいて、今後も連携を図り、災害時の協力体制を強化していきます。



▲小島進深谷市長と握手を交わす鈴木市長（翠楽苑）